



八千代台東小学校の児童が舟戸水草園で体験学習

天候に恵まれた真夏のような暑さの9月28日(月)、コロナ感染防止をしながら児童もスタッフもマスクをつけての活動が行なわれました。

夏休み中の8月下旬、八千代台東小学校の校長先生から、舟戸水草園の見学をしたいと連絡をいただき、今年度は予定事業の中止が続いているところでしたので嬉しいお申し出でした。コロナ禍で指導にご苦労され、こもりきりの児童に郊外授業を開催された校長先生始め先生方の決断と行動に我々もできる限りの準備をしてお迎えしました。

水草園の通路は平らにして人工芝を張り、沼側の縁にはロープ杭を立ててトラロープで通路を確保、池側のグラグラする木製フェンスは、スタッフが危険防止の策を取るなど、安全対策に重点を置きました。雨模様で階段を下りてから池までのぬかるんだ場所は、臼井の藤代置店さんから寄付していただき、敷き詰めたゴザが大いに役に立ちました。

八千代台東小学校4年生3クラス92名と先生方が
1クラスずつ30~40分ごとに訪れました。

- ①児童にはバスを降りてから堤防(サイクリングロード)を歩いて印旛沼を眺めてもらいながら、人工浅瀬いかだの浮き桟橋の上で園原事務局長が説明しました。
- ②まず印旛沼を眺めての印象を聞くと『こんなに広いとは思わなかった』という意見が多くあり、実際に来て見る事が大切だと感じました。
- ③人工浅瀬いかだに入っている水草について説明。周辺にある在来種のヒメガマや沼面を被い尽くしている特定外来種ナガエツルノゲイトウを説明しました。児童たちが学習した大和田農場で、排水運転が出来なくなる困った存在の外来種である事を説明をすると『これがそうなんだ!』と知り、勉強したことが繋がった様子でした。

ここでは、実際に見たり触ったりすることに重点を置きました。人工浅瀬いかだは当会が保全していますが、数が



少なくなった貴重なインバモ、トチカガミ、マツモ、イヌタヌキモのほか、外来植物のオニビシもあり、インバモとマツモを触ってもらいました。いかだの装置について、また、小さなアオウキクサ、生き物に興味を持ち質問がありました。それぞれの感じ方が多様で、楽しい児童との交流の場になりました。

④最後はカップ公園で、カミツキガメの飼養許可を持つ高橋理事が待ち受けるサプライズでした。怖い亀でも、実は鼻が可愛いという児童もいて、これが一番印象に残ったかも知れません。



この後、児童たちは、ふるさと広場で水質検査やEボート体験等盛りだくさんのスケジュールがつまっております、楽しい印旛沼体験であるように。また、当会の地道な水草保全の一端を感じて頂ける事を願いました。

なお、今回の学習の資料は、小倉久子先生（印旛沼流域水循環健全化会議委員）佐倉印旛沼ネットワークの会、井上恭二氏によるご指導を頂きました。

（この資料は、後日NPOいんばホームページに掲載予定です）

後日、八千代台東小学校の先生から、「調べ学習を進めていく中で、舟戸水草園での学習に興味をもって調べている児童が学級の3分の1ほどいる」とご連絡を頂きました。

※事前準備と当日に参加されたスタッフの方々、誠にありがとうございました。

理事長よりご挨拶

新型コロナウイルス感染の収束が見えず、第3波がこのNPOいんばニュース発行の時にどうなるのか誰にも予想が出来ない日々が続いております。

令和2年3月に予定していた“いちご狩り”をやむなく中止してから、下記のように本年度の事業は中止せざるを得なくなりました。

これから令和3年度の事業計画を作成しますが、新型コロナウイルスの感染が収束し、事業計画が計画通り実施できることを期待しております。今後とも会員皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

記

令和2年度予定事業

(1)5月29日 通常総会は異例の書面決議となりました。

(2)6月26～30日 ミウズ☆フェスティバル2020

(3)8月18日 ふるさと広場水草園で「学びワーキング」水草のお里帰り

(4)10月17日 印旛沼クリーンウォークは15名が参加予定でしたが雨のため中止

(5)11月8日 NPOいんば創立20周年記念式典（令和3年に延期します）

(6)11月14～15日 第17回印旛沼流域環境・体験フェア

※令和3年2月の日帰りバス研修旅行“いちご狩り”は大変残念ですが中止に致します。

舟戸かっぱ公園と笠井記念舟戸水草園の整備報告

千葉県による堤防の整備がほぼ終わり、途切れていた花壇用地は延長されて、募集した“みんなのお花畑”まで繋がりました。11月1日に菜の花の種を蒔き、もう芽が出ています。3月頃には春を告げてくれることでしょう。

“お花畑”には3名の方の協力で、彼岸花・花トラノオ・デージー・菊・ムスカリ・ラベンダーセージ・チューリップ・その他10種類以上が植えられています。

あなたの好きな花を見てもらえる喜びをご一緒しませんか。また、助成金により、かっぱ公園の大看板、水草バンクシステムの看板と、入口にある掲示板を修理しました。

サイクリストや散歩の方にとって、堤防から印旛沼を眺める場所として、皆が眺める足元に笠井記念水草園があり、公園と併せいんばかっぱの会メンバーが整備活動をしています。地元の大学生SYさんがアサザ園で胴長を着て、初めてヨシの除去をして頂き大いに助かりました。なお、マメトラはK1会員が修理し、運転は初体験でした。



アサザ除去



マメトラ耕作



新しい看板

印旛沼のカミツキガメ

出会いは昭和 60 年（1985）ころ、成田市大竹地区の農家の方が、すごい亀を見せてくれるということで、庭に置かれた風呂桶をのぞき込むと**ガメラ**が一匹。ゴルフのパターで頭を叩くと**ガブリ!**すごい亀がいたもんだ。ここで出会ってしまったことが、後にナガエツルノゲイトウを含む特定外来種の担当者となってしまい、平成 17（2005）年以降、農林水産省の外来生物対策指針（植物系）づくりや環境省の**カミツキガメ**防除の手伝い、現在は千葉県生物多様性センターの委託業務として農家と共に手繰川や飯重・寺崎地区の農業水路で**カミツキガメ**を捕獲しています。昨年の実績では 365 匹を捕獲しました。

ナガエツルノゲイトウでは、佐倉印旛沼ネットワークの会の金山代表（故人）が、印旛沼流域水環境健全化会議発足時に警鐘していた事を思い出せば、このときになんとかしていたら状況は変わっていたと思います。

最後に「活動を通じてもの言うNPOいんば」としてがんばりましょう。

高橋 修 鹿島川土地改良区事務局長・NPOいんば理事



西田市長へ提出した要望書についての報告

2020年3月13日面談

かっぱ公園周辺の桜の現状保存 本数 45 本

この度、佐倉市臼井田地先通称「かっぱ公園」における桜並木が、県の印旛沼護岸改修等により将来失われると聞きました。私達市民にとって印旛沼湖畔の 30 年経た桜は景観にも優れ、憩いの場として格別の想いがあります。ついては、かっぱ公園周辺の桜を残していただきたく願います。

回答書 2020年4月9日

市と致しましても、かっぱ公園周辺の桜が印旛沼湖畔の良好な景観を形成していると認識しているところでございます。一方で、当該地域をはじめとする印旛沼周辺は、治水上、重要な地点であり、現在、管理者である千葉県が、順次印旛沼の堤防改修を進めているところでございます。今後、市と致しましても、千葉県に対し可能な限り景観と治水を両立していただけるよう要望してまいります。

編集後記

令和 2 年、コロナ感染拡大により学校が休校になった 3 月以降、「密」を避けてかっぱ公園とふるさと広場を行き来するサイクリスト、散策、そして釣竿や虫取り網を持った家族連れが多く、印旛沼を渡る春・秋のさわやかな空気の中、ゲーム三昧から離れ親子で遊び、お弁当を広げる健康的な姿を目にしました。君津から、八千代から、サイクリング、俳句を作る女性、貴重なトンボがいることに感激した環境団体の方々、印旛沼がどんなに魅力的かを嬉しく実感したコロナ禍の 1 年でした。児童の環境学習の拠点としての舟戸水草園周辺を整備しています。皆さんも是非舟戸に足を運び、ご意見をお寄せ下されば更に活動に力が入ります。（事務局）